

【ポスター発表】

European Care Certificate (欧州介護認証制度)

—英国での運用から—

○ 大阪人間科学大学 中井久子 (002317)

キーワード：欧州介護認証制度、介護労働者の国際移動、国際的な介護の質の統一

1. 研究目的

わが国は2014年「日本再興戦略」を閣議決定し、外国人介護労働者を「技能実習制度」の対象職種に追加することを決定した。介護の現場では2008年から経済連携協定(EPA)により、すでに外国人(インドネシア人、フィリピン人、ベトナム人)が働いている。しかし、EPAでの介護者受け入れは「人材確保」を目的にしたものではなく、わが国の介護人材確保に大きな影響を持つものではないと考える。「技能実習制度」はある程度まとまった数の外国人介護労働者が入ってくると考えられ、枠組みは現在構築中である。日本はアジアの国々から一方的に外国人介護労働者「受け入れる」ことを考えているが、介護労働者を送り出しているアジアの国々も高齢化と共に少子化が進んでいる。今後はアジアの国々においても高齢者介護の担い手確保は深刻な問題になるのは必至である。そこで今こそ、アジア全体で介護労働者の移動と確保の在り方を考える時期に来ているのではないかと考える。同時に介護の基本的な質の統一や共通の介護教育を考える必要があるのではないかと考える。EU加盟国では2006年からEuropean Care Certificate(以下、ECC)というEU共通の認証制度を設立し、この認証の取得がEU内で国を越えて介護労働者として働く際の基礎レベルの能力を保証している。近い将来アジアの高齢化が迫りつつある中で、日本は自国だけでなくアジア全体の介護人材の在り方を視野に入れた人材確保策を検討することが迫られている。本研究の目的は、ECCの仕組みと具体的内容を、ECCの設立と推進に大きな影響力を持っている英国を通して知ることにより、今後のわが国の介護人材確保対策だけでなく、アジア全体の介護労働者が一定の介護の質を保持し国を越えて効率的な就労が出来る仕組みの可能性を考える上での示唆を得ることである。

2. 研究の方法

2014年8月20日～21日に、EUの中でECCの中心的役割をしている英国のLead Partnerである、The Social Care Institute for Excellence(SCIE)の担当ソーシャルワーカーとThe Association for Real Change(ARC)の人材開発部長(当時)に聞き取り調査を実施した。その後、ARCとはメールで情報の確認や収集を行った。また、2014年1月～9月まで、インターネット検索でECC, SCIE, ARCのホームページより情報を収集した。

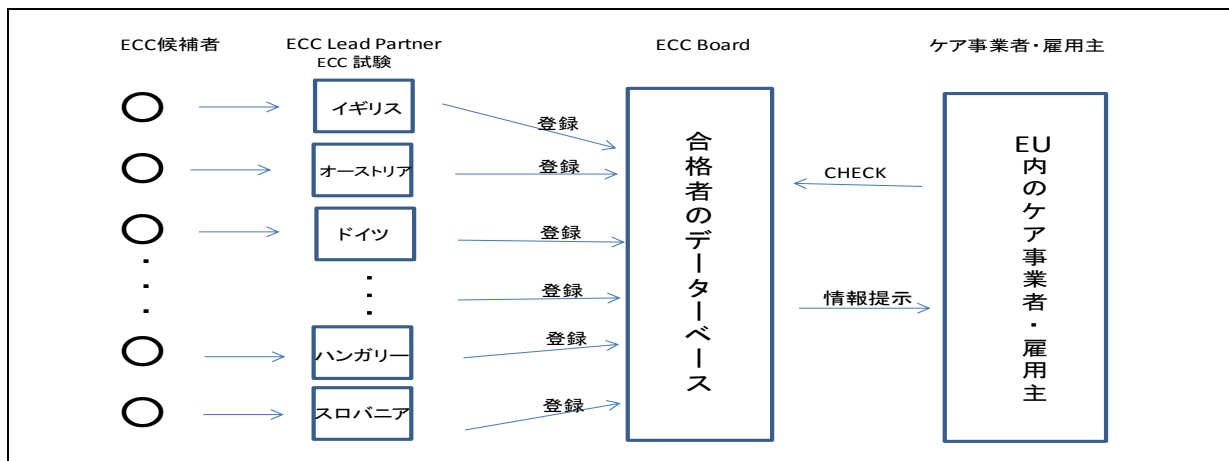
3. 倫理的配慮

調査に入る前にSCIE, ARCに本研究の目的と、聞き取り調査の内容を本研究の資料とすることを説明し同意を得た。

4. 研究結果

1) ECC の仕組み

(中井作成)



各国にはその国の ECC に責任を持つ Lead Partner と実際に ECC training を提供している Delivery Partner が設置されている。合格者の情報は EU の本部があるベルギーのブリュッセルの ECC Board にデータが集められる。2014 年末には 6,000 名以上の登録を目指している。ECC 試験の受験資格は、「16 歳以上」「試験を受ける国の言語の基本的レベルの読み書きができる」ことである。Trainer の条件には明確な基準はない。

2) ECCtraining カリキュラム

(ARC 提供)

項目	時間	項目	時間
オリエンテーション	1	虐待・ネグレクトの認識と対応	3.25
ソーシャルケアの価値	4	ワーカーとしての成長	2
利用者の生活の質を高める	3.25	試験対策	0.75
リスクを伴う仕事	3	受験	1
ケアワーカーの役割理解	2.5	計	30.00
仕事の安全性	6	(選択) 全体のまとめと受験対策	6
積極的なコミュニケーション	3.25		

5. 考察

ECC は日本の EPA 制度と比較すると、はるかに緩やかな受け入れの仕組みである。EU の目的が EU 内における労働者の自由移動であるので、共通の認証を手軽に得る仕組みの構築は必要な対応であった。認証保持者の情報がブリュッセルで一括管理されていることは、質の管理と共に情報の共有化の上で効率的である。候補者の間口を広げながらもドイツや英国では、ECC を国内の既存の職業資格制度に統合することで、他国からの労働者の到達レベルが国を越えて就労する国の職業資格制度に国際的に移転することを可能にし、労働の質を保証しようとしている。英国は EU における ECC 全体の管理、質の維持・向上を主導する中核的立場として動いている。ECC の枠組みと英国の立ち位置は、わが国の外国人介護人材確保のあり方とアジアでの日本の役割を考える上で示唆を与えてくれる。